



- ・ 感染症：中心静脈カテーテルの穿刺は清潔に行いますが、体の外と中が管でつながるため、細菌の侵入が起こって敗血症になることがあります。その際は、カテーテルを抜去し、抗生物質などで治療します。
- ・ 血栓：中心静脈カテーテルの留置により、カテーテルの周囲に血栓ができることがあります。その場合はカテーテルを抜去します。

以上の説明でご不明な点がございましたら、またそれ以外にもお聞きになりたいことがありましたら、いつでもお聞き下さい。

平成 年 月 日 説明者：医師\_\_\_\_\_

## 中心静脈カテーテル挿入に関する同意書

東京医科大学霞ヶ浦病院 病院長殿

私は中心静脈カテーテル挿入に関して、担当医師から、挿入する理由、挿入方法、合併症などについて、「中心静脈カテーテル挿入に関する説明書」を用いて説明を受けました。また、不明な点について担当者と話し合い、質問する機会を得ました。

私は上記に関して十分に理解し、中心静脈カテーテルを挿入することに同意します。

平成\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日

：患者 または ；代理人（配偶者、保護者、その他）

氏名（自署）：\_\_\_\_\_（続柄\_\_\_\_\_）

住所：\_\_\_\_\_

### 特別な理由により同意書が得られない場合

担当者は該当理由項目（複数選択可）にチェックして署名する

緊急の対応が必要で、同意を得る時間的余裕がない

患者様の病態が重篤あるいは意識障害のため、同意を得る状態にない

患者様のご家族または代理人と連絡が取れない

その他：\_\_\_\_\_

平成\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日

担当者：\_\_\_\_\_科・氏名：\_\_\_\_\_